

春の日ざしと温かい陽気が訪れた安善寺

題字 近藤龍弘 写真 佐藤正樹

藏王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番地10
TEL.(0258) 32-2811
FAX.(0258) 32-2870

◆スタッフ◆
安藤一夫 小林国二 小林善秋
高橋潔 佐藤正樹 近藤マリ子

開花不假栽培力
自有春風管対伊
(花開くことは栽培の力を
仮らず、おのずから春風
の伊を管対するあり)
もうすぐ木々が綻ぶ季節
です。境内の大櫓は暮れに
は凡て葉を落とし、枝々を
見ると枯れているように見
受けられますが、よく見る
と春の訪れを待ち、新芽を
生みだすために、じっと力

いのち 生命の尊さ 翠巖龍弘

こんなとき、人間の生命
を考えると、今日、自分が
生きていること、生かされ
ていることが、尊く、かけ
がえのないものと強く感じ
られます。
現代は、世界中で生命の
尊さが叫ばれております。
それにもかかわらず、最近
報道されるニュースは、あ
まりにも安易に、人の生命
を奪ってしまうような暗い



出来事ばかりです。
特に数年前までは想像も
出来なかつた、これからの
日本を背負っていかなくて
はならない十代の凶悪事件
が、目に飛び込んで来ない
日がありません。

一体、日本はどうなって
しまったのでしょうか？

宗教を抜きに考えて来た我
が国の戦後教育の歪みが、大
きなつげとなつて、今の現代
社会の荒廃を築いてしまつた
のではないのでしょうか。
「満つれば欠ける」といわ
れますが、日本の高度成長に
伴つて、失つてはならない大
切なものも多くを、失つてし
まつたように思います。

大切なことは、一人ひとり
が生命の尊さを知ること、そ
れが出来る人が、世の中に
息づいている凡ての生きもの
の、「生命の尊さ」を感じ
られるのだと思われまふ。
争いをおこしたり、むやみに
自然環境を破壊したり、飢
えて苦しんでいる人々に無
関心でいられるのは、自分
の生命の尊さに気づかぬた
めではないでしょうか。

この度、有志の方々から季
刊誌発行のお話しをいただ
き、創刊号を発刊する運びと
なりました。

誌面を通して「生命の大切
さ」や、今叫ばれております
「心の時代」について、模索し
ていければと思っております。

編集に携わってくださった
皆様に感謝申し上げます。
合掌

曹洞宗

蔵王山安善寺

達磨さまによつて開かれた禪宗が、高祖道元禪師、太祖鑿山禪師によつて、日本曹洞宗が開かれた。一五四二年、長翁存宗和尚により、長岡の地に安善寺が開創されて四五六年の長い歴史時代を経て廿七世に受け継がれています。

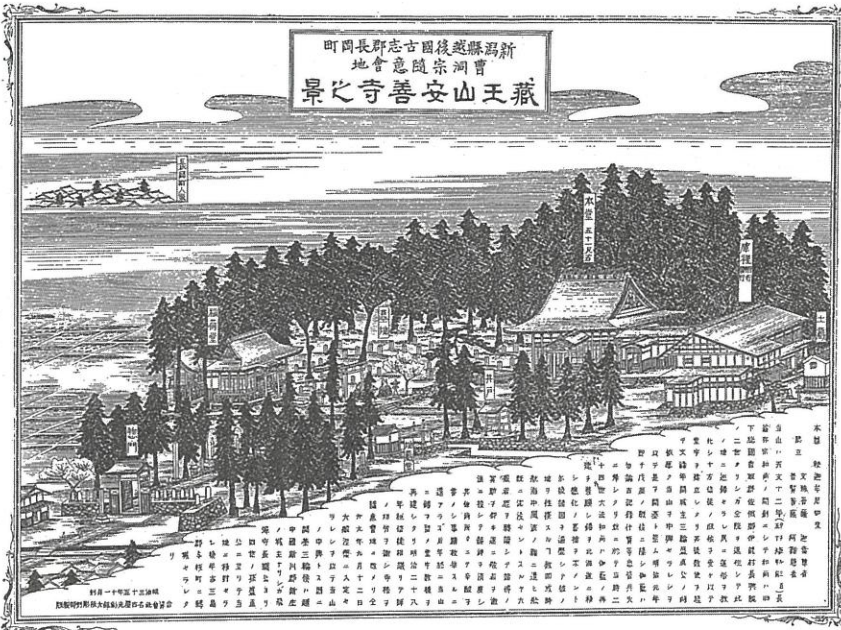
本尊 釈迦牟尼如来

協立 文殊菩薩 迦葉尊者 普賢菩薩 阿難尊者

昔、安善寺は、今の長岡市蔵王町に『安善寺』という天台宗の寺院(長岡で最も歴史のある寺院の一つ)の、塔頭寺院(わきでら)でした。

天文三年に、現千葉県香取郡大栄町(下総国香取郡佐俄郡伊能村)の、長興院の二世であった長翁存宗和尚が当地に巡錫(僧侶が各地を巡行して教導すること)されて、たくさん信徒の信頼を受け、栖吉の普濟寺を曹洞宗に改宗された後、天文十二年(一五四三)に安善寺を曹洞宗として、開創されたと伝えられております。

歴史は、今年(平成十年)で四百五十六年になります。現在の場所は大沼城跡で、再建されたとき移されたのが、前から天台宗寺院で当地にあったかは定かではありません。文禄年間、信仰心の厚い城主・三輪九良娃工門(王山院殿天岩木意大居士・寛永七



年寂)を、安善寺の中興開基(寺をふたたび盛んにした創立者)と崇めました。江戸時代の後期には、地域の一大禅修行道場となり、傑僧を多数輩出されたと言ひ伝えられております。明治元年の戊辰の役で、

伽藍を兵火で焼失しましたが、二十四世大法黙通和尚の発願で、明治六年に本堂が再建され、その後、庫裏(住職の住まい)に農家を移転し、境内を整地して、明治三十五年には、右の版面のような建築になりました。

その後、本堂を

始め、開山堂、位牌堂、観音堂を増築。昭和に入りますと書院、離れが増築されました。

第二次世界大戦の長岡空襲では、旧市内のほとんどが焼失しましたが、幸いにも安善寺は焼失を免れ、焼け出された多くの方々が、取りあえず安善寺で、生活された

と聞き及んでおります。こんなことから、昭和二十年に寺族として初めて、廿六世の家内が寺で生活できるようにになりました。

皆さまの楽しい話や身近なお話し、ご質問、ご相談、ご意見を次号から紙面にと考えています。皆さまのそんなお話しをぜひ。手紙 九四〇〇〇五二 長岡市神田町一四一〇 安善寺

昭和四十年に庫裏が改築され、平成五年には、本堂大改修、そして開山堂、位牌堂、玄関棟が改築され、今日に至っております。(翠巖龍弘)

世代	世代名	示寂年月日	備考
開山	長翁存宗	永禄6.11.7	普濟寺開山
二	安翁淳泰	永禄10.5.26	常福寺開山
三	連室賢益	天正6.6.13	普濟寺3世
四	昌山門奕	文禄3.10.13	
五	寒室文松	元和7.8.10	中興
六	天桂文堯	寛永6.11.12	
七	三岑堯頓	寛文2.9.19	地藏院開山
八	知外桂恩	天和3.3.19	
九	寒谷外雲	元禄8.12.28	
十	素堂閑淳	正徳5.7.8	普光寺8世
十一	滿山道浙	正徳1.9.22	
十二	無參鐵門	享保12.7.18	常福寺2世
十三	良志徹妙	宝暦11.8.25	普濟寺14世
十四	壽提弘量	明和4.2.11	
十五	香国芳春	天明2.4.18	
十六	享叡物元	安永5.6.26	
十七	大應牧仙	寛政8.3.24	大慈寺8世
十八	泰定提嚴	天明1.5.21	
十九	奇崑本瑞	天明8.11.11	妙喜寺開山
二十	大猷玉麟	文政7.9.3	
廿一	大枝香雲	天保5.7.8	実性寺開山
廿二	澄水梵龍	嘉永7.7.27	
廿三	陪庵養門	明治8.5.12	再中興
廿四	大法黙通	明治29.9.12	随意会開關
廿五	見性放牛	昭和19.11.7	
廿六	雲巖見龍	昭和62.12.25	重興
廿七	翠巖龍弘	現住 昭和61年10月晋山	

春の行事

皆さま、おそろいでご参加ください。

■涅槃会(お釈迦様が亡くなった日) 3月15日(日) 午前11時より 読経・法話・お斎・団子まき

■法話 真宗大谷派 勝覚寺 住職 草間法照師

■彼岸会(先祖供養と心の修養週間) 法要 各日とも午後1時より

3月18日(水) 彼岸入 法話 大日寺住職 佐藤止樹師

3月21日(土) 中日 法話 当寺住職 近藤龍弘

3月24日(火) 彼岸明 法話 大日寺住職 佐藤止樹師

■花まつり(お釈迦さまの誕生日) 5月5日(火) 午後1時より 会場/厚生会館大ホール 催し/稚児お育て法要・花祭法要

■甘茶接待/午前10時~午後2時 厚生会館・大和・丸専 ザンライス

■大般若法会(檀信徒の家庭繁栄と安全・平和祈願の日) 6月12日(金) 午前10時30分 法要・説教・お斎 説教/楞嚴寺東堂老師

暑さ寒さも彼岸まで。
彼岸は三月の春分の日と、九月の秋分の日を中心に、西のかなたの極楽に旅立っていった先祖の成仏を願って、供養をする大切な行事の一つです。



仏さまは、苦しみや迷いにみちた現実のこの世を此岸(大河のこちら)側の岸、

彼岸のこころ

ねうちの ある 生き方を探す日

その苦しみや悩みのない理想の国を彼岸(大河のむこう側の岸)、

こう側の岸)と教えています。そして、彼岸は先祖の供養をするだけでなく、この世に生きている私たちの日ごろの生き方を振り返って、彼岸のような理想的な生き方をしていくための動機づけの日にしたのです。今は「心の時代」「生きがいの時代」といわれています。テレビは「心」をテーマにした映像をさかんに映しています。書店でも「心」の書籍コーナーが人気を集めています。

長寿社会を迎えたからでしょうか、世の中全体が、人は何のために生きるのか、生きがいのある人生とは何か、を真剣に問い求めているようです。

この問い求めている理想の生き方をするには、現実のこの世(此岸)の生き方から、理想の国の生き方(彼岸)に、心のありようを変えたらよいので

す。これを到彼岸といっています。

誰もがかならず迎える人生のたそがれ。ここで、落日の日を待つだけの、つまらない人生をおくるのか、それとも、たそがれを美しく輝いて生きるのか、二つに一つ、身近で大切な生き方のテーマです。人生一回限り。自分の人生を輝かせることができな人は淋しいと思います。淋しい人生を送らないためにも、彼岸の精神である人としてあるべき姿を探し

たねうちの ある 生き方を、身につけるよう修養に努め、輝く晩年を自分のものにしてください。

お寺とお墓にお参り。彼岸の日は、人生の処し方を考える日です。(安藤一夫)

旅 快い安善寺の旅行会

『安善寺・北海道の旅』に参加して、今も函館は心に残っています。江戸時代、日本で二番目に外国と交易を始めた港と聞きました。また、北廻船も出入りし、栄えた街所々明治を思い出す赤レンガの建物。その他、日本の古き文化が保存されています。



私は、仕事で昨年は九州に二回、秋には聖地エルサレムに行つてきました。国は違っても、求める心は皆同じです。今回の旅に、皆さま参加してみませんか。(竹田政男)

人生 雑記

朝は笑顔で

佐藤正樹

当山にお世話になって、はや十九年になりました。このたび、安善寺の季刊紙発刊に際しまして、自己紹介で紙面を汚させていただきました。



『月お経』にお伺いしている方々には、ご承知おきかと思いますが、姓名は佐藤正樹長生橋を渡りまして、国道八号線を車で柏崎方面に約二十分、大積二丁目の大日寺で生を受けました。

美少年?。いやいや、四十六歳になっております。趣味はまったくございません。酒はほどほど、タバコは少々、いたって平凡な面白いのない男であります。

家族は父母、妻、長男、次男、三男、それに愛犬と私、七人と一匹であります。年齢は三十五歳で十分通用すると思えます(童顔の

昨年十二月二十三日、朝八時、自宅の玄関で名譽の負傷(足首を捻挫)をして以来、二ヶ月あまり、未だ正座がで

[小京都・萩・津和野の旅] 安善寺親睦旅行会 会費 ¥88,000

月日	スケジュール
5月11日 (月)	10:00 貸切バスで新潟空港へ 12:20 空路福岡へ 14:15 貸切バスで関門大橋を見て 17:30 長門湯本温泉⑧
5月12日 (火)	8:00 貸切バスで各所巡り 青海島-秋吉台-秋吉洞 -萩めぐり-小京都・津和野 18:00 湯田温泉⑧
5月13日 (水)	8:00 常栄寺の雪舟石 瑠璃光寺の五重の塔 14:25 空路新潟へ 16:15 貸切バスで長岡へ 17:30 おつかれさまでした

お申込み:安善寺
TEL. (0258) 32-2811 FAX. (0258) 32-2870

お別れ

(平成十年一月〜二月末)

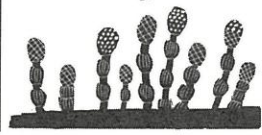
- 樋口忠松様 一月六日 寂 長岡市前田町
 - 中村ヨシ様 一月十七日 寂 長岡市東坂之上
 - 小野寺貴子様 一月廿六日 寂 西蒲原群吉田町
 - 永井俊吉様 二月廿日 寂 新潟市小針上山
 - 村上ツヤ様 二月廿四日 寂 見附市上新田
- 謹んでお悔やみ申し上げます。

まず、お寺に親しんだらうことから

季刊蔵王山安善寺 創刊号

平成10年

季刊誌を通じて檀信徒のコミュニケーションを大切にしたい



創刊を喜ぶ

季刊 蔵王山 安善寺 の作成 を計画 されましたことを、心から 喜んでおります。



渡邊家は浄土真宗に属し、墓もその寺にあります。ところが、父は長岡に

移られた新井石禅様に親しく教えを受け、禅宗への転換を定め、昭和十九年に安善寺様にお願ひし、すべてをお許し頂いたのです。

そのような環境のなか、私は平成二年に安善寺様から護学会の総代を仰せつかりました。

発刊を機に、皆様のご協力をお願い申し上げます。

檀信徒の交流を

総代 太刀川進之助

総代となつて十三年。振り変えて見ますと先代住職様の退筆、現方丈様の晋山結制、本堂大改修などの落慶法要のころまでは、安善寺の年中行事にも数多くの方々のご参加をいただいたておりました。

年を経て、序々にその数も少なくなつて行くのを淋しく思つておりましたが、この度季刊紙発行を聞き、大変喜ばしく思つております。安善寺の行事などについてのご理解や、親しみを深めて多くの面々、檀信徒との交流も拡がることと期待しております。編集の方々のご苦労に感謝いたします。



自然をたたえる日

総代 小林政雄

昨年十一月に地球温暖化防止の国際会議京都サミットが開催されました。



排方ス規制などの削減率で、各国の交渉力の腕の見せどころとなり、本来の目的からはずれた場所と映つたのは私一人だったかな、国益優先主義では、ますます地球が泣いていると...

さて、私たちの生活の周辺も、大同小異ではもつと困る。人々の心の病がだんだん大きくなつたために、環境破壊が生じたことを忘れずに、自然をたたえ、生物を慈しみ、心豊かに過ごしたいものである。三月二十一日は春分の日。

坐

禅会、写経会、俳句会、皮細工の会など、どなたでもお気軽に、お寺にお出かけいただけるように、いろいろな集いを開催いたしております。

皆さまも、ふるつてご参加ください。

坐禅会

①4月〜11月(月4回)

●開催/毎週

火曜日 ●時

間/午前6時

〜7時。●終

了後茶話会を

行います。

②1月〜12月

(月2回)

●開催/火曜

日 ●時間/

午後3時〜4時。●ゆつたり

した服装でお越しください。

●写経会

●開催/4月〜12月(月2

回) ●時間/午後1時30分

〜2時30分。●終了後茶話会を行います。

編集 雑感

思い立つたら吉日と言ふくらい、今回の編集は電光石火でした。何もない状態から締切りの設定まで十日あまり、無理だな、出来ないなと思つたとき、思い出したことがあります。

新幹線の生みの親である嶋秀雄氏は、「できません」と言うことは、一見簡単な事のように思われるが、実は最も難しい事である。何故なら、できないことの理由をすべて証明し尽くさなければならぬから。それを証明し尽くすとすれば、百年の歳月をもつても、とても足りないだろう。そんなことのために無駄な一生を送るくらいなら、いつそやってみます!と云つた方が簡単だ。何故なら、できる可能性を一つでも発見すれば、できない理由が千あると、万あると、すべて無になつてしまふからだ。だから、出来ません!と言ふことは本当に恐ろしいことである」と。安藤編集長以下、今後もチャレンジ精神で頑張ります。皆さまの寄稿を感謝します。(小林 国二)



皮細工の会

●開催/1月〜12月(月2回)

●時間/時

間/午後1時

〜3時 ●ひと

こと/初めてから七年の歳月

が過ぎましたが、なかなか思

うような作品が創れず、四苦

八苦しています。とても楽し

い会です。(近藤マリ子)

活動 サークル

趣味と修養

日々の生活にうるおいを深める趣味の会、生き方に真摯に向き合いながら、人生の高みを求める修養の集い。